

2019年度九州大学法科大学院入学者選抜試験

試験問題

論文試験

(注意事項)

- 一 本試験問題は指示があるまで開かないこと。
- 二 本試験問題は（この表紙と白紙を除き）10頁、解答紙は4枚である。「始め」の合図があったら、それぞれ確認し、解答紙のすべてに受験番号を記入すること。
- 三 解答文は横書きとし、所定の解答欄に記入すること。
- 四 論文試験の筆記具は、B又はHBの鉛筆又はシャープペンシルを使用することとし、それに従わない答案は採点しないことがある。
- 五 ラインマーカー及び色鉛筆の使用は、問題検討のために、問題用紙及び答案構成用の下書き用紙に限り許可する。

次の文章をよく読んで、問(1)～(4)に答えなさい。

【出典】庄司克宏『欧州ポピュリズム－EU分断は避けられるか』(筑摩書房、2018年)

93－114頁

なお、問題の作成に当たり、原典の文章を一部加工している。

問(1) 下線部①につき、「福祉国家」とは一般的にどのようなものと理解されているか。200字以内で説明しなさい。

(20点)

問(2) 下線部②につき、筆者のいう「欧州統合のパラドクス」の内容について、600字以内で説明しなさい。

(60点)

問(3) 下線部③につき、筆者のいう「空洞化」とは何か。200字以内で説明しなさい。

(20点)

問(4) 下線部④につき、現代の日本において、どのような政策が想定されるか、具体的な例を挙げて、当該政策を実現するにあたり、日本の現行法制度下でいかなる方法を用いるべきか、EUの制度と対比しつつ、500字以内で論じなさい。

(50点)